

## 稲西っ子

学校の教育目標 「豊かな心で

ねばり強く やりぬく子」 〇よく考える子【知】 〇認め合い高まる子【情・意】 〇進んで体を鍛える子【体】

## ○ひびきあい活動・・・よさを見つける 自信をもつ

各教室の廊下に貼られた「よいこと見つけ」。児童会企画委員が、優しい笑顔の稲西っ子キャンペーンとして、「みんなの温かい気持ちでサンタさんの空っぽの袋を宝物いっぱいにしてあげよう。」と投げかけ、取り組まれた活動です。どの学級も袋がいっぱいに満たされ、重くて重くてサンタさんも大満足です。添付のカードが800枚を超えた学級もありました。「よいこと見つけ」は、4月から続けられている活動ですが、このひびきあい週間にさらに楔を打つことができました。子ども達が積極的に仲間のよいところを見つけようとがんばりました。よさ見つけのカードには、その思いが詰まっています。温かな気持ちに包まれました。



また、『ええところ』という絵本のお話をもとに全校道徳として「よさ見つけ」について考えました。自分のよさに気づけなかった、自信のなかったあい

ちゃんを変えていったともちゃんの優しさ・・・・。なぜよさ見つけをするのだろうという目的に思いが至る子ども達も多くいました。下記にお昼の放送で紹介した全校道徳後の感想を載せます。どの感想も素直で素敵です。

(2年Aさん)ともちゃんがあいちゃんのええところをたくさんいっしょうけんめいみつけていたところ、あいちゃんの気もちとこころをギュッとあっためてくれたところがともちゃんのええところとわたしは思いました。そして、あったかい手とやさしい気もちでみんなのこころをあっためてくれるあいちゃんと、あいちゃんのええところをたくさんみつけてくれたともちゃんは、みんなのこころをいやしてくれるやさしい人なんだと思いました。

(5年Nさん)わたしは、いままで「身長が低い」や「計算ができない」など、あいちゃんとおなじく、こういうことで自分を決めつけていたけれど、心のことでは自分のいいところが見つけられました。ともちゃんは本当にやさしい人だったので、このようにいい人をほめるのもりっぱないいところだということがさらにわかりました。特に最後の「友達のええところをたくさん見つけるんや。」というところは、わたし的には一番心にぐっときました。なぜならわたしたちも行っている「よいことみつけ」など、積極的にできていないときがあるからです。あと、ともちゃんがこの本であたたかい言葉をかけていたので、きっとともちゃんはやさしい人で、やさしい顔をしたいい人なんだと思いました。

(6年Aさん)主人公(あいちゃん)は「自分のいいところ」って何だろう?ないんじゃないか?と思っていました。私も前まではいつも「自分のいいところ」ってあるのかなぁと考えていました。でも主人公と同じで、よいこと見つけや友達との会話を通して、「私のいいところはこれだ!!」って言えるものができました。だから、このお話は私に似ている話だと思います。私は友達のおかげで自分に自信がもてました。こんな経験があるからこそ、友達のよいところを見つけようとしている主人公はすごいと思います。私が自分に自信がもてるようになったのは、前期終了の時のよいこと見つけ集めです。多いとは言えないかもしれないけど、私にとって宝物のようなよいこと見つけが届きました。そのときに、みんなにも自分自身のよいところを知ってほしいと思いました。主人公も同じように友達にもよいところを知ってもらいたいと思ったんだと思います。私は友達が見つけてくれたよいところをずっと大切にします。

## ○第3回 学校運営協議会

12月8日、稲羽中学校区学校運営協議会を本校で開催しました。学校経営の進捗状況の説明の後、全学級を授業参観していただきました。その後、コミュニティ・スクールについて討議を行いました。討議の中で、稲羽地区の子ども達をどんな子どもに育てていきたいのか「願う姿」を地域・学校・家庭がしっかりと共有していくことが大切であると話し合われました。特に「よさ見つけ」の活動については、小中の9年間でしっかりと取り組み、将来の職業選択につなげていくこと、そして、地域から学ぶ中で、ふるさと稲羽を大切にする心を育てていくこと等が話し合われました。